

令和4年度宮城県公立高等学校入学者選抜における 問題冊子の改善について

高校教育課

1 改善の方向性

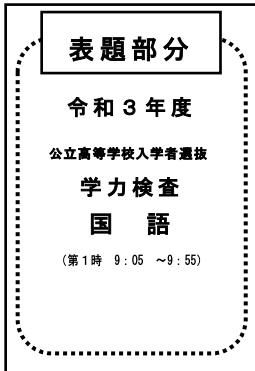
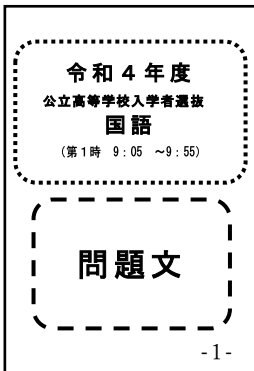
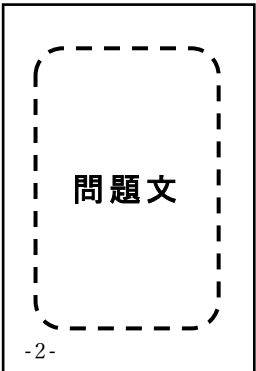
(1) 課題

- ・限られた紙面の中で資料やグラフ等を提示するため、図・表の文字や数字が小さくなり見づらい。
- ・余白が少ないため、計算や下書きが行いにくく、問題文が読みづらい。

(2) 改善の方向性

資料やグラフ等を見やすく提示するとともに、問題文を読みやすくして、計算や下書きを行う余白を確保するため、現行の表紙部分に問題を割り付ける。

2 令和4年度入試における問題冊子の紙面イメージ

現行 (令和3年度)		改善後 (令和4年度)
	→	
		

○問題冊子は、裏面が解答用紙になっている表紙の中に挟み込まれている。

○現行では、1ページ目は問題冊子の中表紙のみであり、問題文は2ページ目から始まっていた（左図）。

○令和4年度から、従来の表題部分を小さくし、表題部分の下から問題文を始めることにより、余白等を確保し、問題文全体が見やすくなるように改善する（右図）。

○解答用紙の体裁は、変更しない。